

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2476 号

Bacteroidetes Species are Correlated with Disease Activity in Ulcerative Colitis

Bacteroidetes 菌種は潰瘍性大腸炎の病勢と関連する

野村 慧 (のむら けい)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、潰瘍性大腸炎 (UC:ulcerative colitis) の病勢が悪化するほど Bacteroidetes 菌種が失われたことを明らかにした意義ある論文である。本研究では、健常者 34 例と UC 患者 52 例の腸内細菌叢の Bacteroidetes 菌種を比較し、UC の臨床的病勢評価との関連について検討している。HSP60 領域の Bacteroidetes 菌種の網羅的解析を行い、UC の各病勢評価 (内視鏡評価, 症状評価, 病理評価) に関連する 12 種が明らかとなった。さらに、各病勢評価 4 つ中 3 つと関連した 5 種 (Alistipes putredinis 他 4 種) の合計存在比率が、総和 Mayo endoscopic subscore と高い相関を示した。さらに、UC の粘膜炎症を惹起する T 細胞の活性化に影響する TNFSF9 を含む 5 つの遺伝子の発現量が、今回明らかとなった UC 病勢と関連して減少する 12 種の Bacteroidetes 菌種の存在比率と有意に相関し、UC の病勢が悪化するほど Bacteroidetes 菌種が失われることを示し、Bacteroidetes 菌種が UC の病勢評価のバイオマーカーとなり得ることが示唆された。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。